

ストーリー性の高い“ストパ”なアイテムを紹介

砂山靴下「2023年秋冬向け展示会」

砂山靴下(株)(東京都葛飾区、砂山直樹社長)は3月8日から10日までの期間、本社ショールームでレッグウェアを中心とした2023年秋冬向け商品の展示会を開催した。

今回のテーマは「ストパ(ストーリー・パフォーマンス)」。同社では、これまで重視してきた生産背景を含めた商品のストーリーづくりに加えて、インフルエンサーマーケティングを活用するなど消費者目線での発信にも力を入れる。この作り手と使い手の双方の想いを効率的に伝えるストーリー性の高い「ストパ」な商品を同社発の新たな価値観として提案した。昨年3月にクラウドファンディングを実施し、目標を大きく上回る支援を集めたスポーツ後の足のケアを目的とした足指開放ソックス「グイット」は、ランニング系YouTuberとコラボし、練習後のケアグッズとして紹介する動画を発信したことで、サッカーやバスケットボールなど様々な競技者へと広がりもみせている。

会場内には、睡眠や美と健康に関わる様々な潜在的なニーズにアプローチするオリジナル商品も取り揃えた。バランスよくカラダケアをコンセプトに、現代女性が抱える悩みの解決を目指すケアブランド「ケアランス」からは、女性のQOL向上につながるフェムケアアイテムを紹介。「とつきとおか」は助産師の浅井貴子氏や妊婦約50人のモニターの意見をもとに開発した妊婦のための着圧ソックスで、妊娠時のホルモンバランスの変化から来る足のむくみを優しく解消する。ふくらはぎの筋肉を下から上に包み込むようにパワーサポートする独自の着圧設計を採用し、皮膚がデリケートになりやすい妊婦のため、肌側は肌当たりの良い天然素材を使用している。日中の



フェムケアアイテムも提案



2WAY仕様のニットワッチ&ネックウォーマー

動きとイエナカでの動きに適した設計の2タイプをラインアップする。

婦人科検診用巻きスカート風パレオ「マトリーナ」は、恥ずかしさが原因で妊娠以外での婦人科検診受診を敬遠する女性が多いことを知ったことから企画した商品で、下半身を隠して検査を受けることができる。婦人科検診受診の普及啓発を目的に商品化した。

「かぜまとうガーゼ」シリーズからは、2WAY仕様のニットワッチ&ネックウォーマーが新登場。つつ編みの生地をそのまま首に通すとネックウォーマーに、生地の真ん中部分でねじって折り返すとニットワッチとしても使えるアイテムだ。ファインメリノウールの20ミクロン糸を使用するなど肌当たりにもこだわった。シルク専門ブランド「コクーンフィット」では光沢感が特徴のサテンシルクのマスクなどの新アイテムも紹介した。また、ライセンスブランドでは、虫よけ加工技術「インセクトシールド」を使ったインナーやレギンスなどのアイテムも幅広く展開していく。